

## 第2回 北区教育ミーティング 会議録概要

<b>開催日時</b>	平成26年12月18日(木) 午後1時30分から午後2時30分まで
<b>会場</b>	北地区コミュニティセンター
<b>出席者</b>	<p>区自治協議会委員 出席22名          北区PTA連合会長・副会長          教育委員              佐藤教育委員、織田教育委員、藤田教育委員          事務局              教育長、教育総務課長・補佐、企画室長、              教職員課管理主事、保健給食課長、施設課長補佐              生涯学習課長、青少年・地域と学校連携室長              学校支援課長補佐3名              北区教育支援センター所長、豊栄地区公民館長</p>
<b>議事</b>	<p><b>1 開会</b></p> <p><b>2 教育委員代表挨拶 佐藤教育委員</b></p> <p><b>3 出席者紹介(教育委員, 教育長)</b></p> <p><b>4 テーマについて</b>  <b>「地域と学校の連携について」 事務局説明 生涯学習課長</b>          ○ 地域と学校パートナーシップ事業の取組について              ① 事業の目的              ② 地域と学校パートナーシップ事業の目指す姿              ③ 事業内容              ④ 地域教育コーディネーターについて              ⑤ 実績の推移              ⑥ 平成25年度の取組について</p> <p><b>5 事前質問の回答及び教育委員の所感</b>              ① 「地域と学校の連携」について              ② 公民館との連携              ③ PTAとの連携              ④ 食育、いじめ              ⑤ その他、テーマ以外の質問については配布資料に基づく</p> <p><b>①地域と学校パートナーシップ事業について各教育委員の所感</b>  <b>教育委員</b>          学校によって運営が違うが、過去にはこのような事業はなく、学校</p>

を中心として保護者、PTAの連携が取れていた。しかし、最近は共働きが多くなり、学校との連携が取れなくなっている。その中で学校と地域の繋ぎ役のコーディネーターが活躍し、事業が広がっている。この事業が今後、ますます発展してくれたらと思っている。

#### **教育委員**

この事業が始まってから、学校が地域に開かれ、地域の人達が学校と関わり易くなったという声を聞く。そして子供たちの活動が地域に出て行くようになった。地域と関わったときの子供たちの輝きが違って見える。子供たちの心の成長にも繋がっていると実感している。

#### **教育委員**

この事業が小学校から始まっており、地域の人から顔を知ってもらい、中学校になっても、お互い面識を持っているため、非行などに及んだ時も注意することができる。地域の人から顔を知ってもらうことが大事。そして、大勢の地域の人が学校と関わることで不審者から子供たちを守ってもらう利点もあると思う。

#### **②地域教育コーディネーターの本来の仕事について各教育委員の所感 教育委員**

ボランティア活動がうまくいくように調整することが本来の業務と思う。ボランティアと一緒に作業するのではなく、学校行事の手配や、ボランティア募集など調整役として活躍してほしい。役割分担をして行かないと、時間が足りなく苦労が増すばかりと思う。

#### **教育委員**

コーディネーターや連携が仕事。また、ボランティアを組織するための基礎建てをすることが本来の職務と思う。時間が足りない現状もあるが、学校の先生もコーディネーターの役割分担を理解し、意識を持ってやっていただきたい。

#### **教育委員**

子どもが元気、学校が元気、地域が元気の要になっているのがコーディネーター。ボランティアリーダーを育てていくことで、コーディネーターの負担が軽減される。そして公民館や社協と連携した業務ができれば面白い事業ができると思うし、主催を公民館、社協主導にするなどの方法もあると思う。

③コーディネーターの仕事は、時間がいくらあっても足りない。

**教育委員会事務局**

ボランティアの方に「活動して楽しかった」と喜んでもらえることが大事な部分であるが、今後、課題や取組などにおける問題点など情報交換の場を設けていきたいと思います。

④公民館との連携について

**教育委員会事務局**

生徒の作品から代表作品を選定し、本人の承諾のうえ、文芸誌に掲載するなど、一歩踏み込んだ対応を学校の協力のもとやっていきたい。

⑤PTA活動と学校行事との連携について

**教育委員会事務局**

親子お楽しみ会、バザー等はPTA活動にあたり、学校行事は教育的な意義を認め、教育課程の位置付けで行うもの。例えば入学式や運動会、文化祭等が該当する。

⑥PTA活動のあるべき姿について

**教育委員**

保護者と先生が一緒になって、子どものために活動することが基本と思う。保護者の生活環境が昔と違いPTAの活動が少なくなっている。できる人が学校行事を引っ張ってほしいと思うし、皆で楽しんでやっていけたら良いと思う。

**教育委員**

なかなか役員のなり手がいないのが現実と思う。大変な仕事だという先入観があるのでは。そうではなく、親同士の輪が広がり、活動が広がり、楽しい活動になるよう心掛ける事が重要と思う。

**教育委員**

昔は、半強制的であった。PTA同士の繋がりや色々な人との出会いにより見聞が広がり、とても有意義な会と思う。子供は親を見て育つ。親同士がコミュニケーションを取る姿を見せることで、この活動はプラスに繋がると思う。PTA活動が、もっと活発になってくれれば良いと思う。

**自治協委員**

PTAとコーディネーターとの関係がうまくいってないという話を聞いたが、教育委員会は把握しているのか。1年くらい前の話である。今後、そのようなトラブルがないように教育委員会でもきちんと対処

願いたい。

#### **教育委員**

コーディネーターが導入された当時は、PTAとの連携がなかなか進まない話を聞いたことがある。しかし、現在は、ボランティアの協力や、保護者やPTAともうまく連携していると思っている。

#### **自治協委員**

コーディネーターをして4年目。ボランティアと一緒に活動するにあたり、現場での調整がどうしても必要に迫られてくる。人情的なものでないので、誤解がないようお願いしたい。人と人との繋がりを意識しているが、不安を抱え、悩みを抱えて仕事をしているコーディネーターが多いと思う。その辺を理解していただきたい。

#### **テーマ以外の質問「食育」について**

##### **教育委員**

子どもから大人を通して一生学ぶもの。地域の食材など子供にも教えていきたいと思います。

##### **教育委員**

与えられた物だけを口にすることでいいのか。いろんな物を摂取して、体をつくる基本をしっかりと意識していくことが食育の基本と思う。

##### **教育委員**

学校における食育とは、食事の重要性や感謝する心、マナーが中心になると思う。正しく食がとれれば集中力、知識力も補えるのでは。人間力や心を磨くためにも食育は重要と思う。

#### **テーマ以外の質問「いじめ」について**

##### **教育委員**

いじめの施策については行政でも色々行っているが、保護者も「いじめ」を許してはいけないという認識を高めることと、地域との連携を取ることも重要だと思っています。

##### **教育委員**

いじめをする側の心理としては、自分を認めてもらえないと感じることや、自信の無さ、不安などがあると考えます。

予防策として、自分は皆から愛されている自覚を持てるような関わり方を行う。そして、もっと子供たちに目を向けられるよう地域とも連携し温かく見守っていく事が重要と考える。

### **教育委員**

考え方の違いや不安が「いじめ」に繋がると思う。不安から誰かをターゲットにすることで、いじめをする集団を作ってしまうのではないかと。人はいろいろな感性がある。楽しいことなどを自覚させていくことで「いじめ」を減らせると思う。

### **自治協委員**

松浜地区で子どもの万引きが増えている話を聞いた。万引きなど、新潟市の状況や北区の状況など教えて欲しい。

### **教育委員会事務局**

万引き自体は減っていない。区ごとに学警連があり会議を行っているが、市全体としては増加していない。年齢的には、下がっている傾向がある。年度が終われば全体的な事故事案や件数が分かるので、前年との比較などができると思う。

### **自治協委員**

教育委員の皆さんの所感を聞いて参考になった。教育委員の個性をもった意見も聞いた。そこで地域教育コーディネーターの選定方法、選定基準、任期の3点を聞かせてほしい。

### **教育委員会事務局**

選定方法は、各学校に推進会議を設けてあり、公民館、学校の代表、地域の代表、コミ協や民生委員を構成した組織の中で地域活動を行っている人、教育に熱心な人などを選定基準として適任がいれば、その会議で推薦し市へ報告、それを受けて市が委嘱する。任期は1年更新となる。

### **閉会の挨拶**

#### **自治協議会副会長**

今日のテーマである地域と学校の連携について意見交換され、短い時間ながら有意義な話が出来たと思う。これからも自治協議会としては、地域教育コーディネーターと協力し、次世代の子ども達の教育活動、社会活動に協力していきたい。